



発行所 磐城日日新聞社
福島縣小名浜町沼田51
電話代表387番
編集長 長瀬壽一
発行人 長瀬壽一

走る合併列車

新市建設草起委員開る

小名浜市制も一時難航を
予定でおります
新市建設草起委員が去る二
十六日小名浜市に開かれ
た三町一村の合併関係
自治協議会以来各町村と
も急務、縣地方課佐藤主
事の合併説明を機に泉町
では二十六日町会で合併
を賛成一致で可決、渡邊
村も二十七日渡邊小学校
で村議以下村内各団体が
賛成を表明、更に江名
町も合併の意向を示し、
三日再び協議会が反対地
域で持たれるが國策の線
に即して合併を促進させ
ることを基本として中田
町長以下理事側が動い
ているので小名浜市制は
いよいよその実現を目指
して本格化して行かざる
を得ない。新市建設
草起委員は「新市建設
草起委員」を改稱
され、その第一回会合を
三月一日午前十一時から
小名浜町議会議室に於
て関係町村の各委員が参
席して協議した。
この日約四十名の各委員
が出席、議長に長瀬町会
議長が座り、関係町村の
現状説明が行われた。
江名中田町長...同町と
しては既に合併を
促進することを基本とし
て動いておられますが、一
部地域に低調な住居の聲
をきかすので三日午後
一時からそれらの町民の
聲をきく協議会をひらく

冬期大会開く

小名浜第一青年會

小名浜町第一青年會(會
長小泉農夫也氏)の冬期
大会は二十八日午前九時
から小名浜第三小学校講
堂に開かれ、各単位青年
會對抗の卓球大会、辯論
大会、産業振興競技など
を行い、午後五時盛會禮
に賞状並びに賞品授與を
行つて散會した。
各会の優勝者は次の通り
卓球大会の部
▽個人戦
優勝||金成青年會
準優勝||住吉青年會
▽団体戦
優勝||高萩利夫(住吉)
二位||稻葉俊男(金成)
三位||齋藤蘭子(住吉)
二位||高萩利夫(住吉)
三位||齋藤蘭子(住吉)
辯論大会の部
▽優勝||「吾が偉人觀」
小名浜町第一青年會

植田法務局落成

落成式

法務局植田出張所の落成
祝賀式は二十八日午前十
一時より盛大に舉行した
先づ小野島法務局長の
工事経過報告工事施工者
丹野建設工業株式會社「
社長丹野四郎氏」に感謝
状と金一封を贈り、感謝
した。
また協賛會植田、錦、勿
來、山田、川部の町村に
校側も鈴木校長以下各教

綱領
◎紙面を廣く讀者の論説に開放し、社
會の意見を擁護する。
◎一旦掲載した問題に關しては如何な
る反論をも拒まず、これを尊重する。
磐城日日新聞社

成人學級開催

小名浜公民館主催

小名浜町公民館(館長高
木長年氏)では来る三月
十五日に開校、三十一日
迄の十七日間、毎日午後
七時から公民館内で二十
九年度成人學級を開校す
る。科目は
▽やさしい家庭醫學
▽これからの農業
▽郷土史、商店の經營、
科学の知識など

卒業迄に完全就職

先輩のまじめさが一役

師が全力を挙げて、その
追込みにつとめて、
〇...就職希望者は男子
八三名、女子七四名とそ
れが卒業生の約半数が
就職に立上るわけだ。こ
れ等希望者も男子生の八
三名に對し十三名が家務従
事、残り七十名も二月二
十日現在で三十九名が
就職決定。順調な滑り出
しを見せている。
女子などは七四名中大半
の五二名が家事従事の意
向らしく、二十二名の希
望者もやはり二十日現在
で十七名が決定、男子以
上好成绩をおさめてお
り、未決定者も少ない。
〇...給料は住込女中の
場合一、〇〇〇圓、他は
一、五〇〇圓、二、〇
〇〇圓が平均らしく男女共
差りはないが、一般通勤
者は最高手取り五、〇〇
〇圓、最低三、〇〇〇圓と

亡父定次郎儀葬送の際には御多用中
の處遠路態々御會葬下され且つ御
鄭重なる御香料を賜り御情芳誠に
有難う御座りました。
早速参上御禮を申上げ、ご處略儀
乍ら紙上を以つて御禮申上げます
昭和二十九年三月一日
石城郡小名浜町松之中
喪主 齋藤 義定
親戚總代 小野 直義
友人代表 小野 兼吉
友代表 吉康定

鹿島小、中学級増設決定
縣新予算で
小名浜町教育委員會(教
育長齊藤勇一氏)ではか
ねて鹿島小中学校の學級
増設を縣教育委員會に申
請して、正式決定した。
これにより鹿島小中学校
のあり方が、緊縮算
ではないかと憂慮されて
いたが、小野縣議の盡力
で二月縣會上提された
ことになった。

ホシ友油株式会社 社長 星友太郎
うまい油 うまい味噌

外務社員 履歷書持参の事
本社業務部
昭和廿九年度 入學案内要項(別科)
福島県立小名浜高校
一、趣 旨
別科課程と云うのは本校に併設されて
いるので、新制中學卒業生が専ら和洋裁を習
得するために、地域社會の要求に應じて、
昭和二十五年五月に新設されたものである
爾來内容も整備して本年は第四回の卒業生
を送ることになった。
本校は學校教育の長所を生かし、洋裁・和
裁を専門に學び、その傍ら家庭(料理・作
法・育児)・華道・國語・社會・珠算等を課
だしたと念願して、
二、設置場所
小名浜町住吉 第三小學校の教室二室を當
てている
三、授業内容
毎日六時間、休暇は夏季冬季休業の外、春
秋農繁期には夫々三週間程度の臨時休業が
ある。毎週授業時数は次の通りである。
和裁(一)洋裁(一)國語(二)証
書(二)珠算(二)体育(二)華道(二)
家庭料理、作法、育児(二)四
四、授業料その他
毎月授業料二四〇圓、PTA會費一〇〇
圓、生徒會費八〇圓、計四二〇圓
五、入學資格・修業年限
①新制中學卒業生又は之と同等以上の学力
ありと認められた女子
②二カ年卒業、更に研究したいものため
にはその機会を与える
六、入學手續
①入學願書 ②報告書 用紙は本校で交付
する。この書類は出身中学校で作成し本
校に直接提出することになっている。
七、願書提出期間
三月一日から三月十日迄 本校で受付ける
八、募集人員 約四〇名
九、考查期日・科目・考査場
期日||三月廿二日(月) 午前十時~三時迄
科目||國語・社會・理科・數學・保健體育
國語工作・音楽・家庭・職業又は英語
考査場||本校(小名浜町吹松一、臨港宮下駅
から四方へ徒歩十分)
一〇、合格発表
三月二十五日 午前十時 本校第一校舎
※尚不明な点がありましたら本
校係のものにお問ひ合せ下さい

感謝状を贈つた
終つて渡邊植田町長、來
賓代表、磯沼植田保健所
長の祝辭があり高木、松
井両代議士等の祝電を披
露したのち小名浜田出張
所長の謝辭があつて式を
終つた。寫眞は法務局
植田出張所。
この内山縣工場長を初め
高木町長、山崎議長、赤
津土木委員長、各委員等
関係有志約五十名が参
列した。
着工した鷺内社宅は十一
坪建四戸「錦興株式會
社社長佐久間清一氏」
十三坪建四戸「大成建
設株式會社」が各々請負
完成は五月末日の予定

栄えの二七八名

小名高卒業式挙行

卒業生シズシのトップを飾つて小名高(濱高)校長大竹貞治氏(の卒業式は三月一日快晴に恵まれた春光に祝福されて午前十時から同校講堂に於て盛大に挙行された。縣教育長代理安達新氏の臨席を得、小野、大井川、両縣議員、立花小名高町長、外教育委員、町会議員など来賓多数の参加に式はまじり国家斉唱に始まり、雪の功成つた卒業生二八九名を送る大竹校長の手は感激にふるえていた。小名高二十八年度卒業生は全日制制数二二八名、内普通科一五四名、(總代鈴木榮)商業科三八名(總代吉田求)被服科三六名(總代山口富美子)。

▽定時制：四五名(總代奈良恭子)。
▽別科：一六名(總代阿部恵美子)。
▽各種受賞者は次の通り
▽優等賞：草野純子、鈴木榮、佐藤春美、吉田求、山口富美子、以上全日制。奈良恭子、定時制。阿部恵美子、別科。

▽PTA会長賞：鈴木榮、佐藤春美、(全日制) 藤沼春吉(定時制) 別科PTA会長賞：國分登喜(別科) 同窓会長賞：瀧内修、渡邊昭二(全) 東海林孝夫(定) 小名高町長賞：草野純子、坂本武子、若松実(全) 高木右吉(定) 大和田喜枝子(別) 産業教育振興中央会長賞：吉田求(全) 福島縣産業教育振興会長賞：高橋綾子(全) 縣産業振興会石城支会長賞：山野邊トモ子(別) 小名高商工会長賞：和田忠男(全) 日本育英会長賞：鈴木正臣(全) 縣定時制教育振興会長賞：永山久(定) 石城地区定時制教育振興会長賞：江尻靖(定) 小名高町第三婦人会長賞：十四家敏子(別) 縣高体連賞：島目喜彦、江崎清子「全」深谷清三「定」

▽石城地区高体連賞：竹俣一夫、初瀬シメ子「全」國分登喜子「別」 功勞賞 全日制：瀧内修外五〇名 定時制：高田稻美外十二名 別科：山野邊トモ子三名 學校家庭クラブ功勞賞 立花タカ子外六名

▽精勤賞 全日制：猪股禮子外二八名 定時制：齋藤政外六名 別科：八代志磨子外一名

▽五日水産高 卒業式 小名高水産高等學校(校長安達新氏)の卒業式は小名高に於いて三月五日午前十時から小名高漁業協同組合講堂に於て挙行する事になった。

町内に種痘實施

乳兒新入學兒童

小名高町厚生課では三月八日から二十日迄町内全域に亘り、①生後二ヶ月以上十二ヶ月迄の乳兒②本年入學する兒童の種痘を左の日程と場所で行實施する。料金は一人八十円。

▽三月八日(一) 三時五川支部公会堂(大原、相子島、住吉、島、野田、岩出、林城、金成の地区)
▽三月八日(二) 三時小名高高等學校(芳川、清、辨別、日立、宮下、の地区)
▽三月九日(一) 二時二小學校(南富岡、鹿島、高山、須賀町、製町地区)
▽三月十日(一) 二時二小學校(汐留、竹町、本町、横町、花畑第一、二、岡小名地区)

洋服の店
都服装店
小名高町電話五五五

印刷
印刷
電話219

社ク定期役員改選

小名高町民クラブでは二十六日午後七時より公民館日本間に第一回總會を開き、役員改選の期日を次の通り行つた。

▽会長：会田亮、副会長：木村祐、渡邊有、幹事：川村一、渡邊安廣、大浦弘之、鈴木榮信、菅原秀夫、飯田宗秋、峯松宏多、石井幸平、佐藤要、會計：小林仁一郎、川上親光

小名青少年指導者講習

六、七の両日

小名高町公民館及青少年団体連絡協議会主催、第一回小名高町青少年指導者講習会は三月六、七日の両日に亘り小名高町萬里荘に於て行われるが、講師に縣社会教育課丹野清榮、同教育石城出張所吉田功、同草野仁、同町公民館長高木長年の四氏が當り第一日は「青少年団体の活動目的とその運営について」、「青年と政治」の講演、第二日には「団体指導の技術」他「モストレーション、レクリエーション」等、終つて分科討論、全体討論などを行つた。

土工誤つて死亡

一日午前五時三十分頃植田一、錦間の敷川橋梁工事現場で即死して居るのを地元民が発見、植田地区署に届出した。このため植田署では耕田司法主任、土屋刑事部長等が現場に急行検死の結果、植田大字江栗、宇細谷大木組土工鈴木武(四六)と判明、同日死体を家族に引渡した。原因は目下のところは「アライナー」の誤りによるものと見られるが、鈴木さんが働きの先「アライナー」

コスチュームショー

勿來福澤文服院で
おこのショーはデザインと製作とモデルは同學院の生徒達によつて行はれた。

草野医院
院長 草野道平
醫師 野門正
一般外科
内科
性病科
婦人科
小児科
泌尿科
皮膚科
眼科
耳鼻科
歯科
放射線科
(入院随意)

大井洋服店
純毛服地ご注文洋服専門
紳士服 婦人服
最新なスタイルと良心的な仕立
きつと皆様のにお氣に召す
芝浦小名高町T630 茨城縣太田町T531

人種ごまごま

議員の巻

一寸望遠鏡を昔の選挙中に長して見ましようか。サア、大變、候補者さんはお山の火事が自分の頭に燃え移つたかの様な大騒ぎ。アツチ、と頭を下げまわり、こつち膝を七重八重、石の地蔵さんにまで手を合わせている。一寸候補者さん

かし全く仕様がな、一票を持たぬ者には後足で砂をかけて行くなんてサア、次は候補者の御本宅を覗きましよう。クサア、もう一息だ。何、敵は大事事はな。あれが出たおかしなものだ。大旋風を巻き起し、皆の期待に添うて、ウツハツ「……」と大ボラ吹いていきますよ。しかし皆さん議員になつたところで旋風を巻き起すどころか捲き込まれる

位が隣の山、期待に副うどこの騒ぎぢやありません。耳を再び候補者の秘密アクトに向けて見ましよう。「それは先生大丈夫です私に今日二十三票獲得して来ました。あそこも絶対大丈夫、私のかくれ地盤ですからね。明日は又町を〇〇票に増やしてしまふ。大旋風を巻き起し、皆の期待に添うて、ウツハツ「……」と大ボラ吹いていきますよ。しかし皆さん議員になつたところで旋風を巻き起すどころか捲き込まれる

平マーケット サービス券
50圓 (金券切れ返金) (金券利用可)
現金300圓以上御買上り50圓として通用
皆様の店 平マーケット 電297

平マーケット
新入學の御祝には御子様の一生涯の思い出になります。最上のブランドセルを。總牛皮製一九五〇円

ランドセル皮製品	550円
學帽	120円
學生服	200円
ギヤバ	100円
學生手提袋	270円
運動靴	200円
春セーター	250円
ナイト・サンイ帳	100円
化粧品	80円
ジュエリー	190円
カネボウ	100円
ちどり	100円

印刷
事務用印刷物
名刺、パンフレット、チラシ、雑誌、その他
急ぎの中卒上男若女子、保護者同伴来社望
長セ印刷所
電話219・387

飯塚シン商会
外五種類 現金月賦販賣
バインシン 福助シン 芝浦シン 日産シン
工場 飯塚町北台町電話二六八

28日 同時上映
豪華娛樂三本立!!
西郷活劇 ネバタ決死隊
戀天然色 スーダンの岩
腰抜け武勇伝